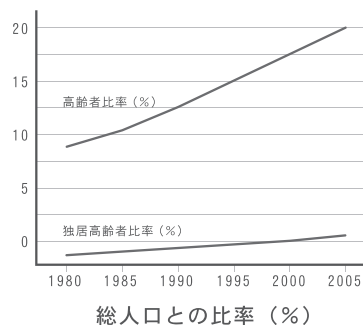


背景

Background

医療の発展や核家族化により、
独居高齢者が増加している。

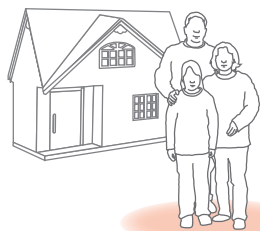


問題

Issue

高齢者が感じる孤独

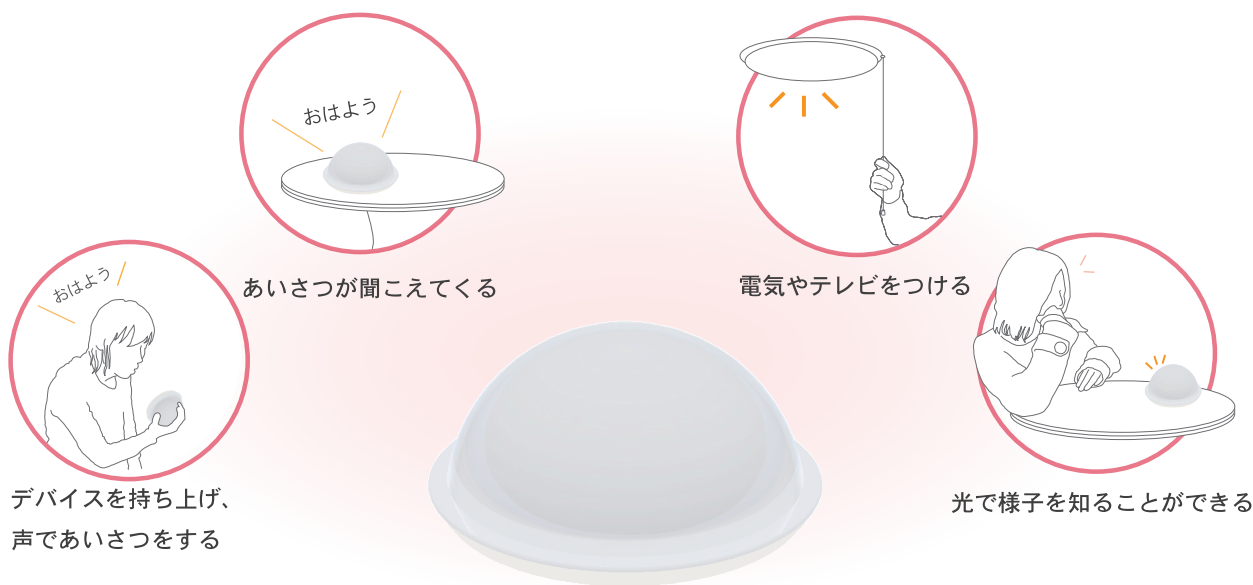
既存の高齢者の見守りシステムは、家族側が一方向的に高齢者の状況を確認するものが多く、
高齢者側からは、家族の様子を知ることができない。そのため、高齢者の孤独感の解消に繋がりにくい。



提案

Approach

あいさつを交わすことで、離れて暮らしていても側にいるような安心感を得られるシステム



なぜ声であいさつ？

- ・声を聞くことで安心できる
- ・一日の始めと終わりを気持ちよく過ごせる

なぜ3秒間の録音？

- ・煩わしさを感じない
- ・毎日繰り返し行うことができる

なぜ光る？

- ・あいさつするタイミングをはかる
- ・抽象的に相手の様子を知ることができる

